

強固な建設産業を築いていくために

技能労働者の高齢化と若年層の入職難等により、建設業における担い手の確保・育成は大きな課題となっている。国土交通省では、社会保険加入促進から、建設キャリアアップシステムの運用まで、担い手の確保・育成に向けた、国土交通省では様々な施策を打ち出しているが、まだまだ課題は山積し

ている。これら状況の中、近畿における建設行政を先導する近畿地方整備局企画部の森戸義貴前部長と、建設産業専門団体近畿地区連合会の北浦年一会長に、その取り組みについて語ってもらった。(森戸前部長は、七月九日付で総合政策局公共事業企画調整課長に転任)(司会・中山貴雄)

近畿地方整備局企画部

森戸義貴前部長

対談

建設産業専門団体近畿地区連合会

北浦年一会長



語り合う森戸前部長と北浦会長

法定福利費の支払いモニタリング 森戸氏 社保対策、賃金含めしっかり調査を 北浦氏

―初めに今年度の整備局の主な事業についてお聞かせ下さい。
森戸 大きなプロジェクトでいえば、河川事業では天ヶ瀬ダム再開発や阪神なんば線淀川橋梁架け替え等、道路事業では紀勢線での全線事業化や大阪湾岸道路西伸部の工事着工、淀川左岸線延伸等を推進していきますが、やはり、防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策が大きなものとなります。令和二年度までに三・五兆円を投資して全国でインフラ関係の整備を行います。

労務単価は上がったが 必要経費は流れているか

―設計労務単価も七厘雇用するためには最低この年連続で引き上げられ、今回は前年比で三・三%のアップとなりました。
北浦 新労務単価ではたとえば、大阪のどび工費で二万四三〇〇円。週休二日を確保して年収五〇万円になる計算で設定されている。他産業に見劣りしない賃金水準だと評価できる。本場にこの単価が末端の職人まで流れてくれば、生活費の不足を補うため、わざわざ現場を探して休日出勤や夜勤をする必要もなくなる。当然、入職者も確保できる。腕の良い職人も育てられる。間違いない。

―その担い手確保に向けた専門工事業としての取り組みについて。
北浦 まずは、発注部局である企画部に現場の生の声を聞いていただく。そのことに心から感謝申し上げたい。人手不足について、私はこれまで一貫して処遇改善を訴えてきた。ようやく設計労務単価が引き上げられてきたが、バブル崩壊以降は、公共事業が縮小さ

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられている。にもかかわらず、いまだに「社会保険加入を進めると会社がつぶれる」という親方と民間の工事でも差がある。先般、ある会合で前局長もおっしゃっていました。ここは何より、建設

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられている。にもかかわらず、いまだに「社会保険加入を進めると会社がつぶれる」という親方と民間の工事でも差がある。先般、ある会合で前局長もおっしゃっていました。ここは何より、建設

未加入業者には国が厳しい姿勢で 週休2日など働き方改革全面支援 森戸氏

森戸氏

北浦氏

森戸 建設部の立入検査でどこまで実態が分かってきたか。未加入業者の問題が、元請、発注者を説くのかという課題は確か

―未加入業者には国が厳しい姿勢で週休2日など働き方改革全面支援
北浦 現状では作業員の保険番号を記載するな

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられてきたが、バブル崩壊以降は、公共事業が縮小さ

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられてきたが、バブル崩壊以降は、公共事業が縮小さ

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられてきたが、バブル崩壊以降は、公共事業が縮小さ

―現場では設計労務単価と実際の賃金には依然として大きな乖離があると。
北浦 平成二十四年度比で四八%(全国平均)も労務単価が引き上げられてきたが、バブル崩壊以降は、公共事業が縮小さ